

2018.10.10(水)

産新新聞

Japan Metal Bulletin

2018年(10月1日)

第195号 Since

国内支社局編
 中部支社 名古屋市中区上野津1-4-12 TEL 052(331)3371
 中国支社 広島市南区大須町1-4-12 TEL 082(263)5523
 北海道支局 札幌市北区北七条西4-8-3 TEL 011(756)1321
 福岡支局 福岡市博多区博多駅前3-23-22 TEL 092(472)3867
 東北支局 仙台市青葉区大町1-1-8 TEL 022(223)3032
 北信越支局 新潟市中央区万代4-2-23 TEL 025(244)7600
 http://www.japammetal.com/m/

日刊産業新聞ホームページ
 http://www.japammetal.com/
 E-mail: hiteisu@sangyo.co.jp
 携帯サイト
 QRコード
 http://www.japammetal.com/m/



高品質な伸銅品で存在感 権田金属工業 100周年

「創業100周年を迎えた心境を。」
 「まことに何となく、お喜ばしい。生産を始めたのが、先達の社長、社員の苦労の連続だった。その歴史が、今も私たちの誇りである。」
 「初代権田三郎が、創業をしようと思つたのは、故郷に暮らすか、東京へ出てくるか、歴史は長い。」
 「父は故郷に暮らすか、東京へ出てくるか、歴史は長い。」
 「父は故郷に暮らすか、東京へ出てくるか、歴史は長い。」

銅・黄銅棒などの伸銅品とアルミニウム板を製造する権田金属工業(本社)相模原市中区(権田源太郎社長)は、1918年(大正7年)の創業からきょう100周年を迎えた。押出市場においても無二の存在感を放つ。近年はアルミニウム板採掘でも高い評価を受ける。戦前、戦中の3度の工場倒壊と近年の国内需要減少を乗り越えてきた同社の歩み、そして今後の展望を権田社長に聞いた。

JX金属、75万円に改定 鋼建値2万円下げ

JX金属は9日、10月推定平均は7万1900円に改定した。現物相場は7万1900円(前日比+100円)となった。8月の平均は7万1900円(前日比+100円)となった。8月の平均は7万1900円(前日比+100円)となった。

同社はエンプラリ構築工場(横浜平塚)を2013年設立。米3区での10%出資で、国内最大級の生産力(当)を保有している。国内最大級の生産力(当)を保有している。国内最大級の生産力(当)を保有している。

権田源太郎社長

「朝鮮戦争の停戦で、事業を伸ばしたが、その後、設備投資と事業拡大によって付加価値を高めることができた。」
 「2000年代に入るとアルミニウム板にも参入した。現在の生産規模は、直近人手不足を受け市場を創出した。直近人手不足を受け市場を創出した。直近人手不足を受け市場を創出した。」

良品共栄、理念変わらぬ

「1953年に銅棒・銅パイプの生産を始めた。1953年に銅棒・銅パイプの生産を始めた。1953年に銅棒・銅パイプの生産を始めた。」

鋼建値推移 (1000円/トン)

年月	平均	前日	前月
2018年	730	730	730
7月12日	720	720	720
7月20日	730	730	730
7月28日	730	730	730
8月5日	730	730	730
8月12日	730	730	730
8月19日	730	730	730
8月26日	730	730	730
9月2日	730	730	730
9月9日	730	730	730
9月16日	730	730	730
9月23日	730	730	730
9月30日	730	730	730
10月7日	730	730	730
10月14日	730	730	730
10月21日	730	730	730
10月28日	730	730	730
11月4日	730	730	730
11月11日	730	730	730
11月18日	730	730	730
11月25日	730	730	730
12月2日	730	730	730
12月9日	730	730	730
12月16日	730	730	730
12月23日	730	730	730
12月30日	730	730	730

「鋼建値は、アルミニウムと耐摩耗工具に使われる。鋼建値は、アルミニウムと耐摩耗工具に使われる。鋼建値は、アルミニウムと耐摩耗工具に使われる。」

素材への付加価値模索

「父の時代から100年弱が黄銅棒の製品は、良い品を造ることに専念している。」
 「父の時代から100年弱が黄銅棒の製品は、良い品を造ることに専念している。」
 「父の時代から100年弱が黄銅棒の製品は、良い品を造ることに専念している。」

権田金属工業 100年の歩み

1918年	権田源太郎氏が相模原市中区(現相模原市)で権田伸銅所を創業、黄銅棒の生産開始
22年	台風で工場全壊
23年	関東大震災で工場全壊
44年	株式会社化に改組
45年	横浜航空機で工場罹災
47年	権田金属工業株式会社に社名変更
52年	権田忠志氏が2代目社長に就任
53年	銅棒・ブラスの生産開始
63年	現在の相模原市への工場移転が完了
82年	1000トンの鍛造プレスを導入し、鍛造棒を内製化
83年	権田源太郎氏が3代目社長に就任
86年	圧延設備を完全自動化
89年	アルミニウムの生産開始
91年	伸銅品のJIS認定工場に
93年	630トンの冷間鍛造プレスを導入し、鍛造加工品を内製化
99年	ISO9002(その後9001に変更)認証取得
2007年	アルミニウム合金薄板工場が完成
08年	経済産業省の「元気なモノ作り中小企業300社」に選定
11年	隣接地を買収し工場を拡張

GSユアサ 大容量蓄電池を受注

北海道の風力発電所用

北海道の風力発電所向に寄与する。風力発電所向に寄与する。風力発電所向に寄与する。

GSユアサは、風力発電所向に寄与する。風力発電所向に寄与する。風力発電所向に寄与する。

GSユアサは、風力発電所向に寄与する。風力発電所向に寄与する。風力発電所向に寄与する。

住友電気 機器 7000 太陽光発電

住友電気工業は、太陽光発電の導入を支援する。住友電気工業は、太陽光発電の導入を支援する。

10月11日 JOGME

住友電気工業は、太陽光発電の導入を支援する。住友電気工業は、太陽光発電の導入を支援する。